



## コミュニティに力を取り戻す仕組みづくり

機能別分団(宮崎市)

- 得意分野や既にある資機材を活用して、ある特定の活動や大規模災害時等に活動を限定して参加する「機能別消防団員」を組織。
- 平成17年の台風第14号においても救助活動実績のある水上バイク愛好者団体を対象にした、機能別消防団員である「水上バイク隊」が、宮崎市消防団に創設される。



写真)財団法人日本消防協会HP

63

## コミュニティの力を取り戻す仕組みづくり

即戦力となる防災集団づくり(鳥取県鳥取市)

- 防衛会長の強いリーダーシップにより、住民に防災意識や協働精神が根付いている。
- 「婦人消防隊」、「シルバー消防隊」を結成し、**平日昼間の災害**に備える体制を整備。
- 成人男性による「レスキュー隊」は**夜間や休日の災害**に対応。



# コミュニティの力をとり戻す仕組みづくり

水防協力団体制度(岩手県一関市)

(水防協力団体の指定)

水防法 第36条 水防管理者は、民法(明治29年法律第89号)第34条の法人又は特定非営利活動促進法(平成10年法律第7号)第2条第2項の特定非営利活動法人であつて、次条に規定する業務を適正かつ確実に行うことができると認められるものを、その申請により、水防協力団体として指定することができる。

水防協力団体	NPO法人 災害サポーターシステム岩手 (平成17年の水防法改正より全国で初めて認証された「水防協力団体」)
業 務 内 容	河川、道路、ダム、ライフライン等の公共施設が被災等した場合、人命救助支援活動、被災施設の被害状況調査、施設の復旧作業等の支援、災害に配慮した街づくり計画への助言・提言を行なう。
所 在 地	盛岡市つつじヶ丘30の5
指 定 日	平成17年12月9日

出典:一関市H65

# コミュニティの力をとり戻す仕組みづくり

地元企業と連携した避難体制づくり(鳥取県米子市)

- 日野川の下流に近い福生東10区では、指定避難場所への避難に20～30分もかかるため、万一大雨で日野川が氾濫した場合の避難が懸念。
- 自主防災会長が、同じ校区内にあり何年も前から交流を深めていた**地元企業**へ相談をもちかけ、災害時の**仮避難所**として借りられることになった。
- 仮避難所への避難訓練も行われている。

